

令和3年11月30日

11月というと、スポーツや文化で「集大成」の月のように感じます。プロ野球にしても日本シリーズがあったり、プロゴルフでもメジャーな大会が毎週あったり、競馬もジャパンカップがあったり、ですね。

当社もこの11月はいろいろイベントがありました。税務署から優良申告法人の表敬を受けたり、株主総会があったり、でした。私自身も久しぶりにお客様と会食だったり、久しぶりにゴルフコンペに参加したり、人間ドックがあったり、他にもいろいろありました。コロナ禍になってから、こんなにいろいろなイベントがあった月はなかったもので、刺激がありすぎて少々疲れてきますね。

そんな中での株主総会、会自体は滞りなく終わったのですが、その後に株主様との会食ということで、すぐ近くのホテルのレストランに皆様を先導してお連れして、いざレストランで名前を告げると、「ご予約をお伺いしてませんが・・・」との返答。いやいや、ちゃんと予約しましたけど、と反論したのですが、とあることに店員さんが気づかれまして、「梅田の方のお店にご予約いただいています。梅田の同じホテルの中のお店です。」と伝えられた瞬間、私の頭の中は真っ白になりました。今いるところは難波、このお店は本日満員御礼、今から他のレストランをうろうろ回っても空いている保証はない。お連れしたお客様の雰囲気だんだん怪しくなり、一つの決断に迫られました。「大変申し訳ないのですが、梅田のお店に電車でいきましょう。」ということで、夕方の帰宅ラッシュの地下鉄で梅田のお店に皆さんをお連れした、というわけです。この時間帯のタクシーはあてにならないし、渋滞にはまったらどうにもならないですからね。上場企業の役員さんを混雑した地下鉄にお乗せする。いやあ生きた心地がしなかったですね。まさか、同名のホテルに同名のお店、これが梅田と難波の両方にあるとは。

完全に指差呼称が抜けてましたね。予約した時に住所の表示があったはずなのに。また、折り返しの予約確認メールにも住所等のなにかしらのサインがあったはずなのに。おそらく、そんな同名のホテル・同名のお店が梅田にもあるわけがない、という思い込みでした。指差呼称を掲げておきながら、私自身がこういう失敗をしてしまうとは、穴があったら入りたい心境でした。11月のイベント尽くしの最後の最後での落とし穴でした。思い込みは指差呼称の天敵ですね。皆さんは私のような失敗はされないでしょうけれども、1つの失敗事例として心に留めておいていただければと思います。

以上